

第 21 回
第二言語習得研究会(JASLA)
全国大会
予稿集

大会テーマ

最新の S L A 研究と授業実践の方向性

2010 年 12 月 18 日(土)～19 日(日)

於 麗澤大学

(〒277-8686 千葉県柏市光ヶ丘 2-1-1)

◆目次◆

プログラム・予稿集掲載内容一覧	2
大学構内地図.....	5
予稿集	7
『第二言語としての日本語の習得研究』投稿規定・書式	82
第 22 回第二言語習得研究会(JASLA) 全国大会研究発表の募集	87
第二言語習得研究会(JASLA) 2010 年役員・委員	88

プログラム

■ 12月18日(土) (会場：1号棟1503) ■

12:30 受付

13:00 開会

司会 大関 浩美 (麗澤大学)

開会宣言 鎌田 修 (第二言語習得研究会会長)

開催校挨拶 中山 理 (麗澤大学学長)

13:15~16:45 《パネルディスカッション》

最新のSLA研究と教育実践の方向性

司会：副田 恵理子 (藤女子大学) : p. 7

「語彙習得」

小森 和子 (九州大学) : p. 8

「文法習得」

菅谷 奈津恵 (東北大学) : p. 14

「言語適性」

向山 陽子 (武蔵野大学) : p. 20

「中間言語語用論」

清水 崇文 (上智大学) : p. 26

指定討論者：白井 恭弘 (ピッツバーグ大学)

16:45~17:00 総会・事務局からの連絡

17:00~ 《懇親会》 (会場：食堂ひいらぎ)

■ 12月19日(日) (会場：1号棟) ■

9:30 受付

10:00~11:30 <<口頭発表>> (1503) 司会：名嶋 義直 (東北大学)

10:00-10:30 相互行為に動機づけられた分裂構文の機能
－自然習得者と教室学習者の比較から－
遠山 千佳 (立命館大学) : p. 32

10:30-11:00 縦断的な作文データに基づく
「結果の状態」用法の「ている」の習得研究
－位置変化動詞と状態変化動詞から－
簡 弁雯 (台湾慈济大学) : p. 38

11:00-11:30 中国語を母語とする上級日本語学習者の誘い表現の認識
－母語・指導の観点から－
頼永 祐美子 (南山大学大学院生) : p. 44

10:30~12:15 <<ポスター発表>> (1409・1410) 担当：堀 恵子 (東洋大学・筑波大学)

(1) 第二言語の文の音読時における表現形態の処理が文記憶に及ぼす影響
－日本語学習者を対象として－
佐藤 智照 (広島大学大学院生) : p. 50

(2) 日本語学習者の談話に現れる接続辞表現の習得 －テ形接続に着目して－
高田 悠紀子 (広島大学大学院生) : p. 52

(3) 中国語北方方言母語話者の長音産出における音節構造の影響
栗原 通世 (国士舘大学) : p. 54

(4) 中国語母語話者の日本語音韻知覚に関する一考察
－ナ行音・ラ行音・ダ行音聞き分け練習のケーススタディから－
大久保 雅子 (早稲田大学大学院生) : p. 56

*** 12:15~13:30 昼 休 み ***

- 13:30~15:00 <<基調講演>> (1503) 司会：小河原 義朗 (北海道大学)
第二言語学習における基本語力の習得とその教育的支援
田中 茂範 (慶應義塾大学) : p. 58
- 15:15~16:45 <<口頭発表>> (1503) 司会：横山 紀子 (国際交流基金)
- 15:15-15:45 第二言語としての日本語語彙学習におけるタスクの効果
ータスクタイプと繰り返しの比較を通してー
田所 直子 (神田外語大学) : p. 64
- 15:45-16:15 中間言語の「断り」における遅延ストラテジー
ーウクライナ人日本語学習者の、
日本語母語話者・ウクライナ語母語話者との比較に基づいてー
ドゥピンカ・イリーナ (東京大学大学院生) : p. 70
- 16:15-16:45 日本語学習者の共同解決型発話ストラテジーについてのー考察
許 挺傑 (筑波大学大学院生) : p. 76
- 16:50~17:00 閉会式 (1503) 司会：小河原 義朗 (北海道大学)
第22回全国大会のお知らせ 横山 紀子 (国際交流基金)